

コロナ禍における専門通訳ボランティア派遣 留意事項

1 外国人対象者、通訳ボランティアへの留意事項

- (1) 待ち合わせまでに手洗い、消毒をしておくこと。
- (2) マスク又はフェイスシールドを着用すること。
- (3) ソーシャルディスタンスを取ること。
また、待ち時間が長時間に及ぶ時、同じ場所で待たなくても良い。だいたいの目安時間を聞いて再度集合すること。
- (4) マスク着用やソーシャルディスタンスを取ることにより、双方の声が聞こえにくくなるため、聞こえやすいような声量で話す事を心掛けること。
- (5) 例外的に、コロナ禍での状況では、歯科のように診療スペースが狭い場所やマスクを外さなければならない状況においては診察室外で治療前の確認、治療後の説明をまとめて通訳させていただくよう財団から派遣先機関に依頼してあるので、現場でもそのように伝えること。
- (6) 派遣先機関による検温や消毒などの感染防止対策に協力をする事。
- (7) 派遣日当日や当日までに発熱又は、咳が出るようになったら、財団に連絡すること。

2 派遣先機関の関係者への留意事項

- (1) あらかじめお伺いしている感染症対策及び、ソーシャルディスタンスが取れるようご配慮をお願いします。
- (2) 待ち時間が長い場合、通訳ボランティアは別の場所で待機しますので、適切な再集合時間をお知らせください。
- (3) 通訳ボランティアの基本事項
 - ①通訳ボランティアは、秘密を守り、中立的な立場で、正確な通訳に努めるものです。アドバイスや意見を言うことはなく、依頼者と個人的な付き合いはありません。
 - ②フレーズごとに通訳をする逐次通訳です。例外的に、コロナ禍での状況では、歯科のように診療スペースが狭い場所やマスクを外さなければならない状況においては診察室前で治療前の確認、治療後の説明をまとめて通訳させていただきます。
 - ③予習をして通訳に臨みますが、不確かな事や不明な言葉については、その場で確認させてください。
 - ④通訳以外の要件や、あらかじめ伺っていない要件はその場で受けかねます。
 - ⑤トラブルに関する通訳や、医療通訳において症状が重篤な場合や重要な告知についての通訳は対応しません。
 - ⑥通訳ボランティアは法的責任を負うものではありません。
 - ⑦診療が継続する場合、派遣する通訳ボランティアが変わることがあります。